

場所	分類
原子炉建屋内 RB	1 時間
タービン建屋内 TB	② 距離
R ZONE R	3 遮へい
Y ZONE Y	4 線源の除去
G ZONE G	5 遠隔、味 ^{トト} 化
その他 () Z	6 汚染拡大防止
	7 その他

TB 2

被ばく低減対策好事例集

番号 29-04-01

内 容	作業場所を低線量率エリアへ変更		
作業部位	1号機タービン建屋 1階		
概 略	水中ポンプ投入時、高線量率エリアである地下1階中間部での作業を行わず、低線量率エリアである1階面から行った。		
評価 (定性・定量)	効果	対策前	対策後
		線量率(mSv/h)	7~22
		人工数(人日)	--

事例詳細

対策前 タービン建屋 地下1階に水中ポンプを投入する際、床ドレンサンプ近傍は高線量率エリアであった。

対策内容 タービン建屋 地下1階へポンプを投入する際、ヒータドレン配管等の影響が少ない1階面から作業を実施した。

■遠隔操作による低線量率エリアからの作業

ポンプ投入も、ヒータドレン配管等の影響が少ない1階面から作業を実施

